保証とアフターサービス 必ずお読みください

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は **お買い上げの販売店にご相談ください。**

販売店に修理のご相談ができない場合

東芝家電修理ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-41

携帯電話・PHSからのご利用は
東日本地区（北海道、東北、関東、甲信越、東海、沖縄県）044-543-0220
西日本地区（上記以外）06-6440-4411

お買い物、お取り扱いのご相談

東芝家電ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-86

携帯電話・PHSからのご利用は 03-3426-1048
FAX 03-3425-2101(365日：8:00～20:00受付)

- 「東芝家電修理ご相談センター」「東芝家電ご相談センター」は東芝テクノネットワーク株式会社が運営しております。
- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書（別添）

- この東芝クリーナーには、保証書を別途添付しております。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- **保証期間はお買い上げの日から1年間です。** 詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

- クリーナーの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- クリーナーに使用している部品は性能向上のため一部予告なしに変更することがあります。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは 持込修理

18ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、電源を切り使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。
なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは

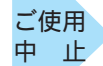
保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ	お買い上げ日	年　　月　　日
	お買い上げ店名	電話（　　　）　－

長年ご使用のクリーナーの点検をぜひ！

このような症状はありませんか。	症状		対処
	●スイッチを入れても、ときどき運転しないときがある。 ●電源コードを動かすと運転が止まるときがある。 ●こげくさい臭いがする。 ●その他の異常がある。	ご使用中止	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

東芝コンシューママーケティング株式会社
家電事業部
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-2-15（東芝昌平坂ビル）

TOSHIBA

東芝クリーナー（家庭用）
取扱説明書

形名

VC-80TX

- このたびは東芝クリーナーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
- お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。
- 保証書を必ずお受け取りください。
- 包装に使用しているダンボールは、分別の上、リサイクルにご協力をお願いします。

もくじ

お掃除の前に

お掃除のしかた

お掃除の後に

このようなときは ほか

安全上のご注意 必ずお守りください

●商品および取扱説明書にはお使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

表示	説明
⚠警告	「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことが想定されること」を示します。
	「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害*2を負うことが想定されるか、または物的損害*3の発生が想定されること」を示します。

＊1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

図記号	説明
禁 止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
指 示	●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
注 意	△は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠警告

分解禁止

改造はしない　また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。

禁 止

電源コードは黄マーク以上引き出さない
電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない
また、重い物を載せたり、挟み込んだりしない
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

禁 止

電源コード、電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。

接触禁止

床ブラシ・ブラシの回転部、自動停止装置など底面には触れない
手などをけがすることがあります。特に小さなお子さまにご注意ください。

100V・15A以上

電源は交流100Vで、定格15A以上のコンセントを単独で使う
火災・感電の原因になります。

禁 止

電源コードを床ブラシの回転部に巻き込まない
電源コードの損傷により、感電の原因になります。

プラグを抜く

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
また、ぬれた手で抜き差ししない
感電・けがの原因になります。

水洗い禁止

本体・ホース・伸縮延長管・床ブラシ（回転部・お手入れカバーをのぞく）・ワンタッチどこでもブラシ（ブラシ毛をのぞく）は絶対に水洗いしない
感電・故障の原因になります。

禁 止

灯油、ガソリン、シンナーなどの引火性のあるもの、タバコの吸い殻などの火の気のあるもの、トナーなどの可燃物を吸わせない
火災の原因になります。

根元まで差し込む

電源プラグは根元まで確実に差し込む
感電・発熱による火災の原因になります。

水場での使用禁止

水まわりや風呂場での使用は絶対にしない
感電の原因になります。

ほこりをとる

電源プラグとコンセントのほこりなどは定期的にとる
感電・発熱による火災の原因になります。

接触禁止

本体内部のギヤには触れない
手などをけがすることがあります。
特に小さなお子さまにご注意ください。

⚠注意

プラグを持つ

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
プラグの刃が変形したり、電源コードが断線して感電・ショート・過熱により発火の原因になります。

禁 止

吸込口をふさいで長時間運転しない
過熱による本体の変形・発火の原因になります。

プラグを持つ

電源コードを巻き取るときは電源プラグを持って行う
電源プラグがあたってけがの原因になります。

プラグを抜く

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

禁 止

排気口をふさがない
火災の原因になります。

火気禁止

火気に近づけない
本体の変形によるショート・発火の原因になります。

まっすぐに引く

電源コードは、まっすぐ引き出す
電源コードを上に引っ張りながら引き出すと本体の引き出し部と電源コードがこすれて破損し、感電・発火の原因になります。

禁 止

引火性のもの（ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使用しない
爆発・火災の原因になります。

禁 止

ホース差込口、ホース、伸縮延長管の接点にピンなどを入れない
感電・破壊の原因になります。

お願い

このクリーナーは家庭用です
●業務用には使用しない。
●掃除目的以外には使用しない。

つぎのものは吸わせない
■水などの液体や湿ったゴミ。
■ガラス、ピン、刃物など鋭利なもの。
■多量の砂（ペット用砂、パウダー状の粉末など）、小石など目づまりするもの。
■食品用ラップや包装用フィルムなどの通気性の悪いもの。
●**フィルターの目づまりや異臭の発生、本体の故障、ダストカップの傷つきの原因になります。**

ホース、伸縮延長管の先端で直接お掃除しない
●床が傷ついたり、故障の原因になります。

掃除するときは電源コードを十分に引き出す
●電源コードを無理に引っ張ると、損傷する原因になります。

床ブラシ・ワンタッチどこでもブラシ・ワンタッチ手元ブラシを床に強く押しつけたり、本体を急激に引っ張ったり、壁、家具などに強くあてない
●床、たたみの傷つきや、壁、家具などへの色の付着防止のため、**力を入れずに片手で軽くすべらせてください。**伸縮延長管に手をそえると伸縮延長管・床ブラシに無理な力が加わることがあります。
●床用ワックス・つや出し床用洗剤をご使用の場合、塗布面にこすり傷がつくことがあります。
●やわらかく傷つきやすい木床材や、ワックス上のこすり傷が気になる場合は、別売品のソフトフロアブラシのご使用をお奨めします。
●砂ゴミの上で床ブラシを使うと、床に傷をつけることがあります。床ブラシの下側の車輪・ブラシ起毛布に付着している砂ゴミは取りのぞいてください。
●床ブラシの下側の車輪・ブラシ起毛布が摩耗していると床・たたみに傷をつけることがあります。お手入れの都度、点検してください。

本体を立てた状態や持ちはこんでいるときに、ダストカップ取り出しボタンを押さない
●ダストカップが落ちて、破損する原因になります。

各部のなまえとはたらき

ワンタッチどこでもブラシ

床ブラシからはずすとブラシ毛がくるっと前に出てきます。 10ページ

使用する時は確実にはめ込んでください。 カチッ

使用しない時は回転させて収納してください。 カチッ

はずすときはボタンを押しながら

手元スイッチ 8ページ
グリップ
グリップフック 9ページ
電源コード巻取りボタン 9ページ
赤マーク
黄マーク
電源コードは赤マーク以上引き出さないでください。（断線の原因になります）
本体フック 9ページ
フィルターサイン
ハンドル
形名表示位置
ゴミすてボタン
電源プラグ
すき間ノズル 11ページ
接点
ワンタッチ手元ブラシ 11ページ
カチッ
伸縮延長管
調節ボタン
ダストカップ取り出しボタン 12ページ
ホースフック 9ページ
接点
カチッ
電源コード
運転中は電源コードの巻き取り、引き出しをしないでください。
スタンドストッパー 9ページ
接点
カチッ
差込口フック 9ページ
ダストカップ
車輪
お知らせサイン
接点
カチッ
けが注意ラベル
床ブラシ 11ページ

ホース差込口

取りはずしはボタンを押しながら行ってください。

ボタン

本体内部

必ず取り付けてください。
取り付けないと故障の原因となります。

●ダストカップ 13ページ

●排気清浄フィルター 14ページ

●フィルターお手入れロボ（プリーツフィルター分離室） 14ページ

長さの調節のしかた

①スタンドストッパーの部分を持って調節ボタンを押しながら、1段目と2段目の延長管を完全に伸ばしてロックをかけます。調節ボタンをはなしカチッと音がするとロックがかかります。

②調節ボタンを押して、2段目の延長管の○印が見える位置で、2段目の延長管の長さを調節してください。

1段目　2段目　スタンドストッパー　押しながら　調節ボタン

○印　長さ調節範囲　押しながら　調節ボタン

※2段目の延長管において○印が見えない位置では、1段目の延長管は伸ばしてもロックがかかりません。長さ調節できるのは、2段目の延長管のみです。

※長さ調節時や使用時に「シャカシャカ」と音がするときがありますが、内部部品の振動音で故障ではありません。

お願い 運転中に吸込み口をふさいで、調節ボタンを押さないでください。急に縮んでけがをすることがあります。

お掃除のしかた

1 電源コードをまっすぐ引き出し、電源プラグをコンセントに差し込む

●アラーム音がなり、お知らせサインが点滅します。(プリーツフィルターが回転します。)

2 手元スイッチを押す

●お知らせサインが消えてから押してください。点滅中はスイッチが入りません。

を押す

床ブラシの回転部の回転を「入/切」するとき

●床・たたみで静かにお掃除したいときは「切」にしてください。
●ゴミが取りにくい場合は「入」にしてください。

ブラシ入/切を押すごとに「入↔切」が切り替わります。

自動

自動/マナー を1回押す

「自動」でお掃除するとき

●ゴミのたまり具合に適した吸込力にコントロールします。

自動/マナー を2回押す

「マナー」でお掃除するとき

●静かにお掃除したいとき。
●移動時など床ブラシを持ちあげたときは、吸込力を弱めます。

自動/マナーを押すごとに「自動↔マナー」が切り替わります。

手動

強/弱 を1回押す

「強」でお掃除するとき

●じゅうたんなど強い吸込力が必要なときに使用します。

強/弱 を2回押す

「弱」でお掃除するとき

●カーテンなど吸い付いて操作がしにくいときのお掃除に使用します。
●すき間ノズルを使ったお掃除に使用します。

強/弱を押すごとに「強↔弱」が切り替わります。

を押す

運転を止めるとき

※電源プラグがコンセントに差し込まれていると、切 を押したときでも約2Wの電力を消費しています。
※長押しすると約10秒間プリーツフィルターが自動的に回転し掃除します。

お掃除のコツ

大きめの紙片や包装用フィルムなどは、お掃除の前にあらかじめ拾っておきましょう。フィルターお手入れロボの分離室や床ブラシの風路につまる場合があります。

床のお掃除

床の傷つき防止のため、**板目にそって**片手で軽くすべらせます。

狭いところのお掃除

手元をひねり床ブラシの向きを変えると、狭いところのお掃除ができます。

低いところのお掃除

●手元を下げると低いところのお掃除ができます。
●手元をひねるとより奥までお掃除できます。

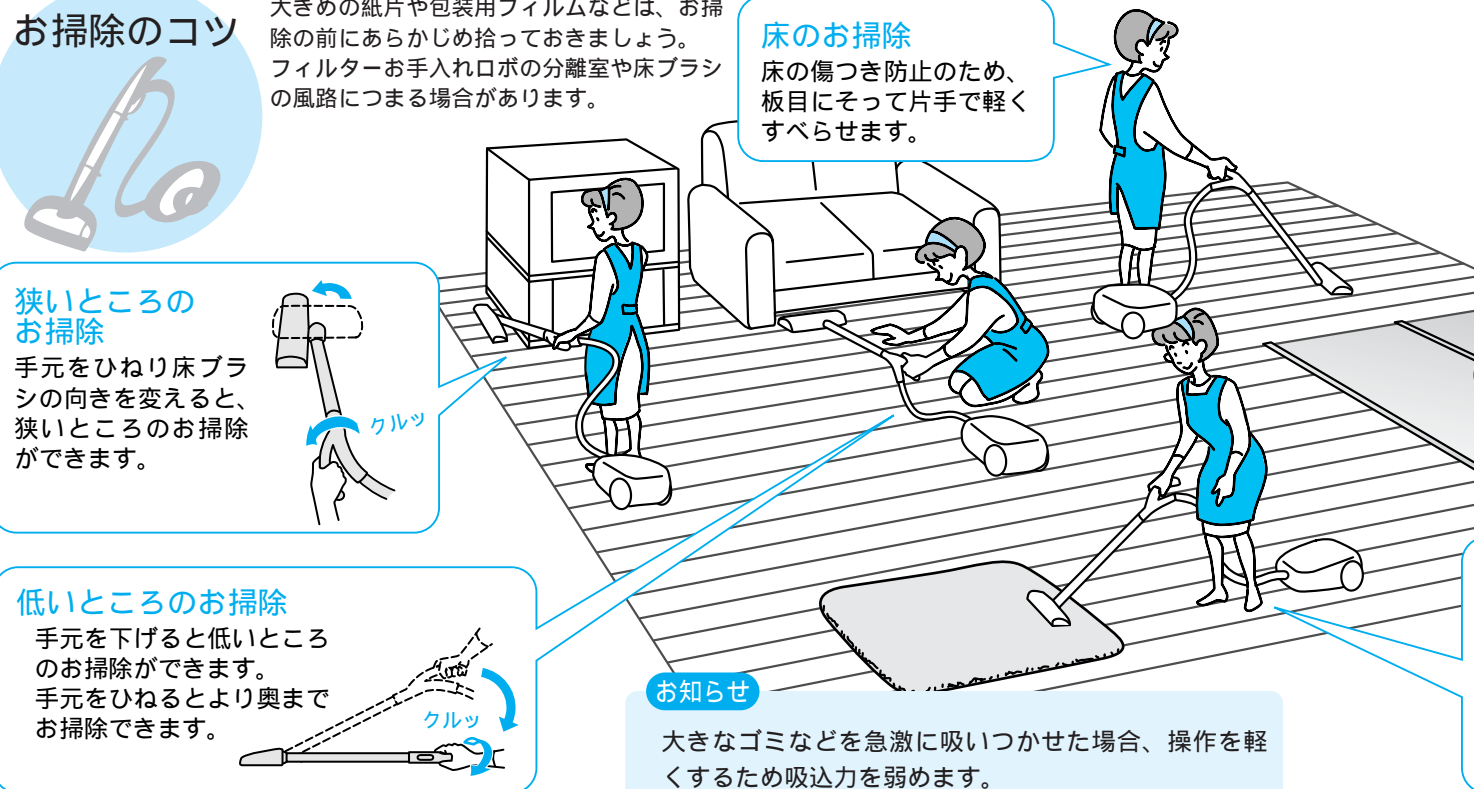
たたみのお掃除

たたみの傷つき防止のため、**たたみの目にそって**片手で軽くすべらせます。

じゅうたんのお掃除

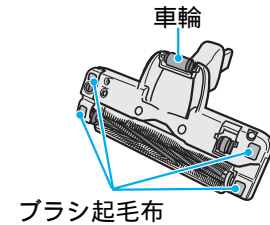
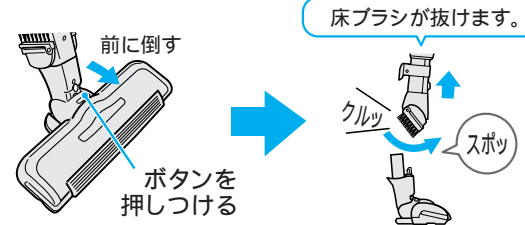
●毛足が長いじゅうたんでは、「強」でお使いになると吸込力が強く、操作が重い場合があります。**その場合は「自動」でお使いください。**
●新しいじゅうたんでは、ダストカップが遊び毛でいっぱいになりますが、使っているうちに遊び毛は徐々に少なくなります。

お知らせ

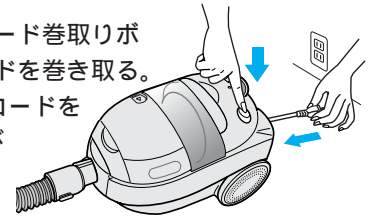
●大きなゴミなどを急激に吸いつかせた場合、**操作を軽くするため吸込力を弱めます。**

お願い

●大きなゴミを吸いつかせたまま**約3分間使用すると、**モーターの過熱を防ぐため、**運転が止まります。**このようなときは、床ブラシの保護装置がはたらきます。

19ページ

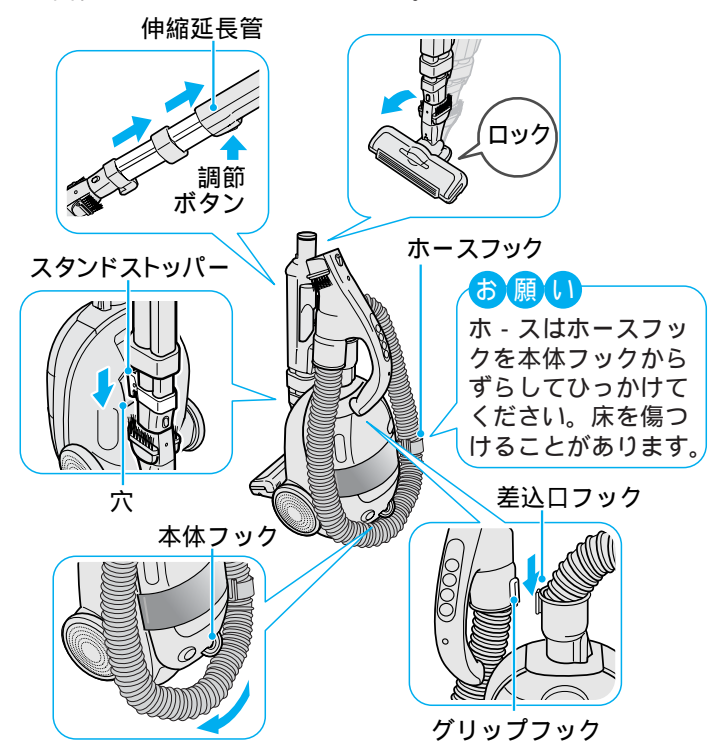
●狭いところや低いところのお掃除をするときは、スタンドストッパーが床面、家具などにあたらないよう注意してください。
●表面が固く、凹凸したコンクリート床などで使用しないでください。床ブラシの下側の車輪・ブラシ起毛布が摩耗していると、床・たたみに傷をつけることがあります。

●延長管を前に倒しすぎて下図のように約垂直状態になると床ブラシがはずれてお掃除できません。ワンタッチでどこでもブラシをお使いになるとき以外は、延長管を無理に前に倒さずにお掃除してください。

お掃除終了後は

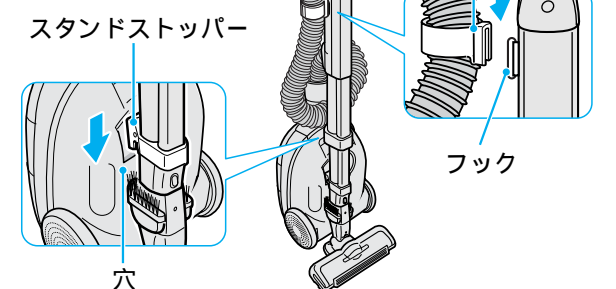
お掃除終了後はお知らせサインの点滅が終了してから電源プラグをコンセントから抜いてください。

①電源プラグを持ち、電源コード巻取りボタンを押しながら電源コードを巻き取る。
②巻き取れない場合は、電源コードを1～2m引き出してふたたび巻き取る。

コンパクト収納 押し入れなど、高さの低い場所での収納

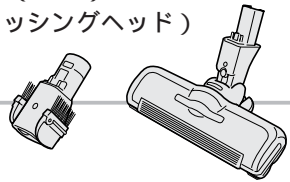
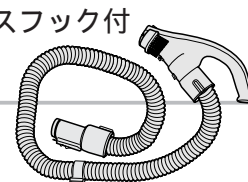
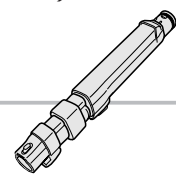
①伸縮延長管を縮める。
②延長管を軽く前に倒して床ブラシをロックする。
③スタンドストッパーを本体の穴に差し込む。
④グリップを伸縮延長管よりはずして、グリップフックを差込口フックにひっかける。
⑤本体フックにホースをひっかける。

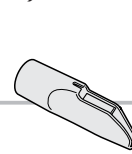
お願い

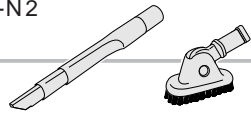
ホースはホースフックを本体フックからずらしてひっかけてください。床を傷つけることがあります。

スタンド収納

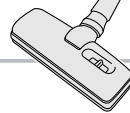
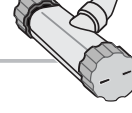
①延長管を軽く前に倒して床ブラシをロックする
②スタンドストッパーを本体の穴に差し込む
③ホースフックを伸縮延長管のフックにひっかける

付属品について

標準付属品

床ブラシ・ワンタッチどこでもブラシ付（1個）
（自走ブラッシングヘッド）

ホース（1本）
ワンタッチ手元ブラシ付
ホースフック付

伸縮延長管
（1本）

応用付属品

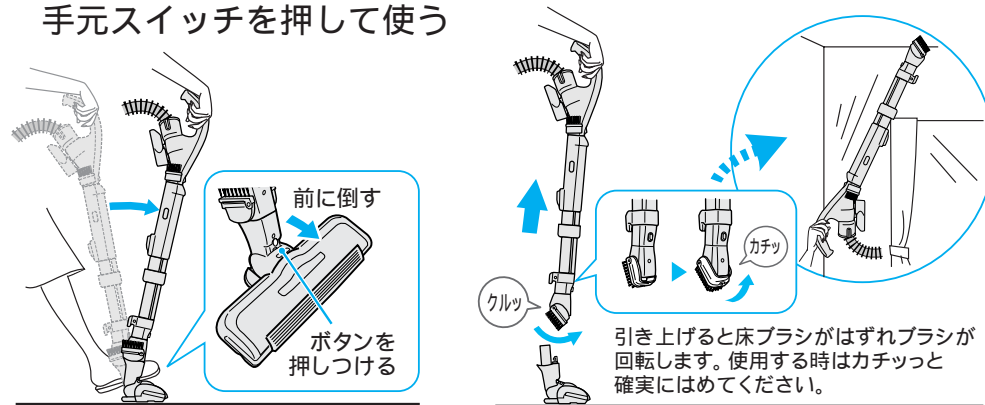
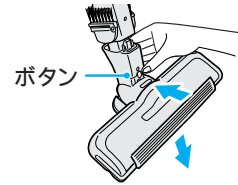
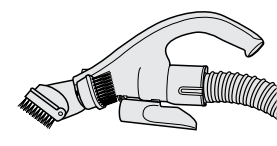
すき間ノズル
（1個）

別売品

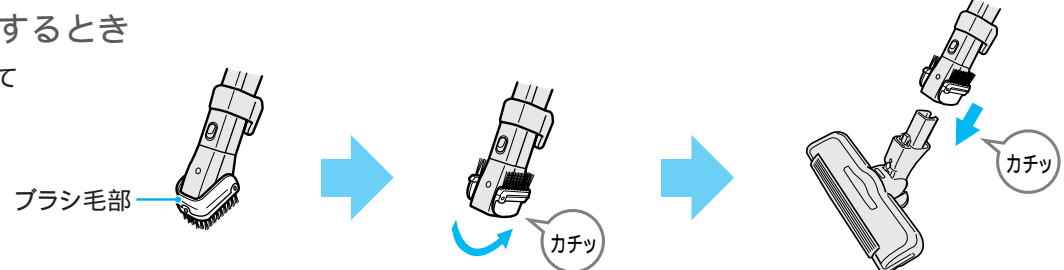
フリーアングルブラシ付
3段伸縮すき間ノズル
VJ-N2

丸ブラシ（馬毛製）
VJ-M2U

ソフトフロアブラシ
VJ-F110

ふとん用ブラシ
VJ-B4

●すき間ノズルは11ページを参照して取り付けてください。
●別売品はお近くの東芝商品販売店でお買い求めできます。

ワンタッチどこでもブラシの使いかた

①切を押して運転を止め、床ブラシを足で軽く押さえて、伸縮延長管を前に倒す
②そのままグリップを上に引き上げ床ブラシをはずす
●床ブラシからはずすと、ブラシ毛部がくるっと前に出てきます。
③ブラシ毛部をカチッとなるまで確実にはめる
④手元スイッチを押して使う

引き上げると床ブラシがはずれブラシが回転します。使用する時はカチッっと確実にはめてください。

●床ブラシは、ボタンを押して手ではずすこともできます。

●ワンタッチどこでもブラシは、ホースの先端に差し込んでも使えます。

床ブラシにセットするとき

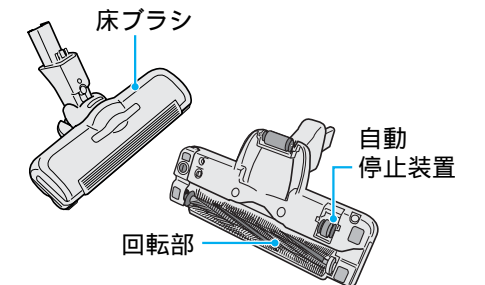
①ブラシ毛部を回転させて
②床ブラシにセットする

お願い

●運転中は、床ブラシの着脱をしないでください。
●無理に延長管を前に倒さないでください。故障の原因になります。
●接続管（ブラシ毛部はのぞく）は水洗いしないでください。17ページ
●床に強く押しつけないでください。傷をつけることがあります。

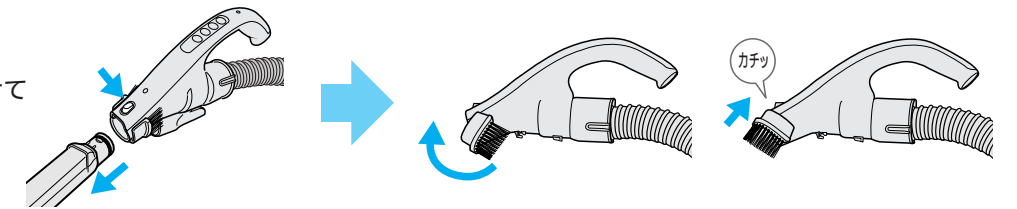
床ブラシの回転部について

⚠警告 **床ブラシの回転部、自動停止装置など底面には触れない**
手などをけがすることがあります。特に小さなお子さまにご注意ください。

この床ブラシには、自動停止装置がついており、床ブラシを床面に置くと回転部が回転し、床面から浮かすと安全のため回転部が止まります。

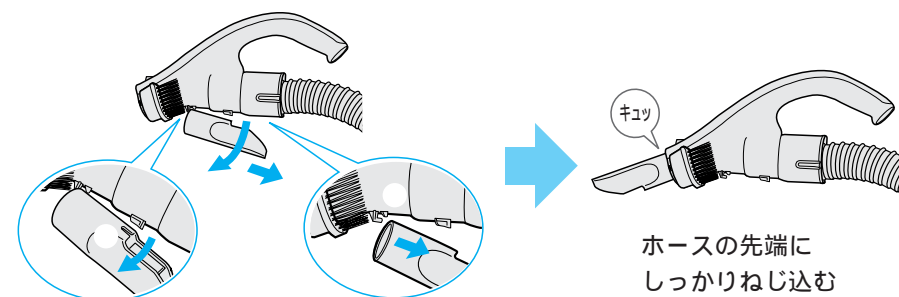
●床ブラシを振ると「カラン」と音がしますが、自動停止装置のボールとレバーの作動音で故障ではありません。
●床ブラシは、床面にゆっくりとおろしてご使用ください。落とすように使用すると、自動停止装置がはたらき、回転部の回転が止まることがあります。
●ホットカーペットや毛足の長いじゅうたん、毛の密度の高いじゅうたんなどじゅうたんの種類によっては、回転部の回転が止まることがあります。このようなときは、切を押し、運転を止め再び強/弱を押してお使いください。

ワンタッチ手元ブラシの使いかた

①伸縮延長管をはずす
（ボタンを押しながらはずす）
②ワンタッチ手元ブラシを回転させて
ホースの先端にしっかりはめる
③手元スイッチを押して使う

お願い

●**床に強く押しつけないでください。傷をつけることがあります。**

すき間ノズルの使いかた

通常は、強/弱を2回押し、「弱」で使う
※強い吸込力でお掃除するときは、強/弱を1回押し、「強」でお使いください。

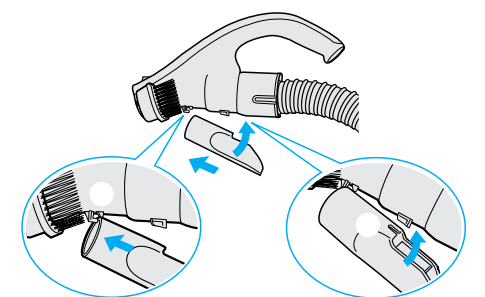
ホースにセットするとき

①すき間ノズルの中央部分を突起部からはずす
②スライドさせてはずす

ホースに収納するとき

①の突起部に引っ掛けたあと
②にはめ込む

お知らせ

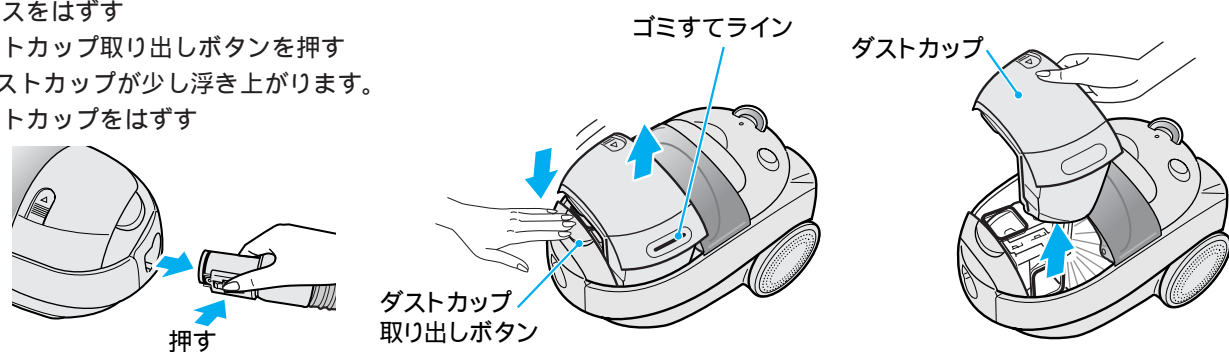
●**すき間ノズルは、ホースの手元スイッチ部の下側に収納できます。**
●伸縮延長管の先にもセットして使用できます。
●すき間ノズルは衝撃により収納状態でもはずれることがあります。
●「強」で使用すると、保護装置がはたらくことがあります。

お願い

●床に強く押しつけないでください。傷をつけることがあります。
●20分以上続けて使用しないでください。モーターに負担がかかります。
●**すき間ノズルをフックから無理にはずさないでください。フックが変形して収納できなくなります。**

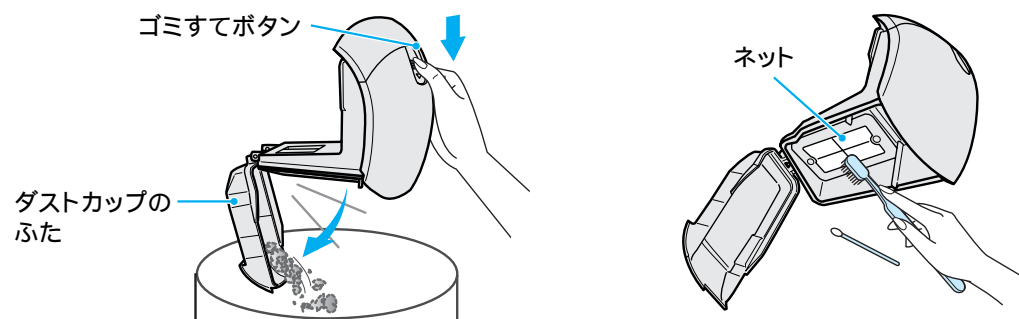
ゴミの捨てかた

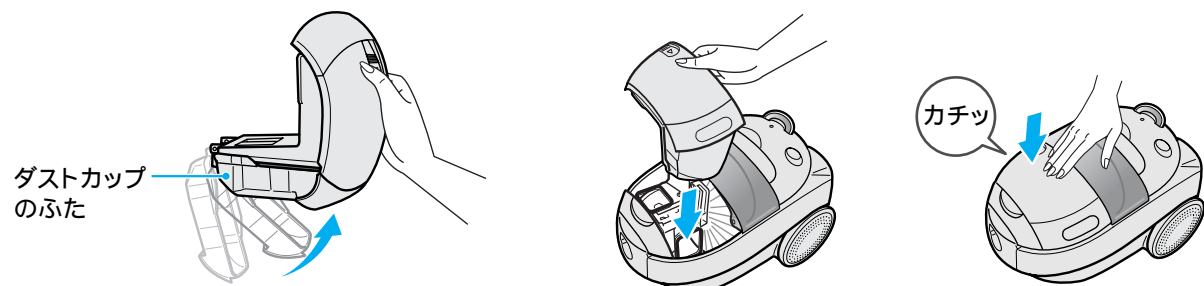
お掃除が終わったらこまめにゴミを捨てましょう。ゴミすてラインまでゴミがたまると吸込力が低下します。
誤って水などの液体や湿ったゴミを吸い込んでしまった場合は、プリーツフィルターのお手入れをしてください。13～15ページ
●フィルターの目づまりや異臭の発生、本体の故障の原因になります。
※ゴミを捨てる前には 切 を押して運転を止め電源プラグを抜いてください。

1 ダストカップを取り出す

①ホースをはずす
②ダストカップ取り出しボタンを押す
●ダストカップが少し浮き上がります。
③ダストカップをはずす

お願い
●本体を立てた状態で、ダストカップ取り出しボタンを押さないでください。ダストカップが落ちることがあります。
●本体からダストカップをはずすときは、ゴミすてボタンを押さないでください。ゴミがこぼれます。

2 ダストカップを大きめの紙袋（ポリ袋）や、ゴミ容器の中に入れる

①ゴミすてボタンを押し、中のゴミを捨てる
②ネットに付着しているゴミは、使い古しの歯ブラシや綿棒で取りのぞく

お願い
●ダストカップのふたには無理な力を加えないでください。はずれることがあります。
●ゴミの量、種類によりゴミが取りのぞきにくい場合があります。その場合は水洗いしてください。

3 ダストカップのふたを手で戻し、カチッと音がするまではめ込み、本体にセットする

お願い
●ダストカップと本体との間に指をはさまないよう注意してください。
●ゴミの種類により、ゴミすてラインまでゴミがたまる前に吸込力が弱くなる場合があります。
このようなときはダストカップやフィルターお手入れロボのお手入れをしてください。

お手入れ

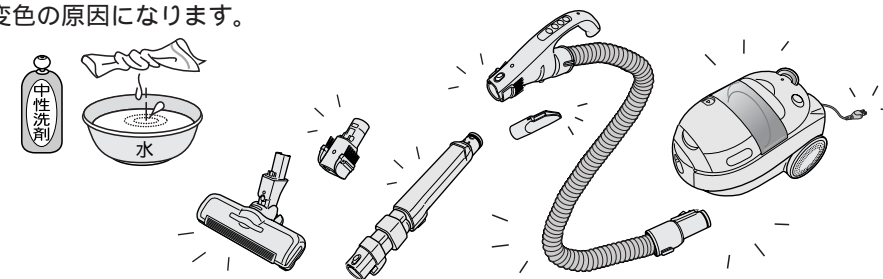
⚠警告

本体・ホース・伸縮延長管・床ブラシ（回転部、お手入れカバーをのぞく）・ワンタッチどこでもブラシ（ブラシ毛をのぞく）は絶対に水洗いしない
感電・故障の原因になります。

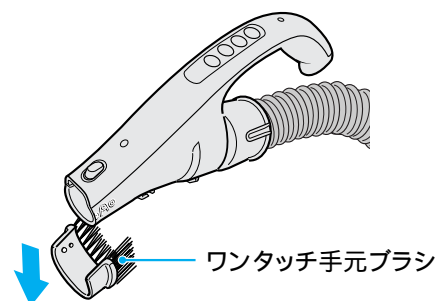
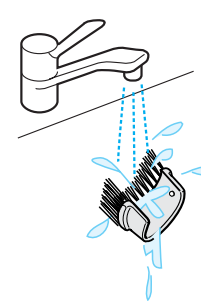
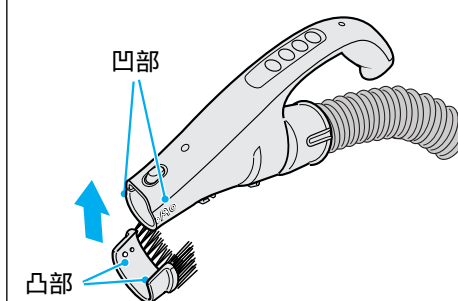
誤って水などの液体や湿ったゴミを吸い込んでしまった場合や、通気性の悪いゴミを吸い込んでしまった場合は、フィルターお手入れロボ（プリーツフィルター・分離室）をお手入れしてください。13～15ページ
●フィルターの目づまりや異臭の発生、本体の故障の原因になります。
※お手入れの際には 切 を押して運転を止め、電源プラグを抜き、ホースをはずしてください。

本体・付属品のお手入れ

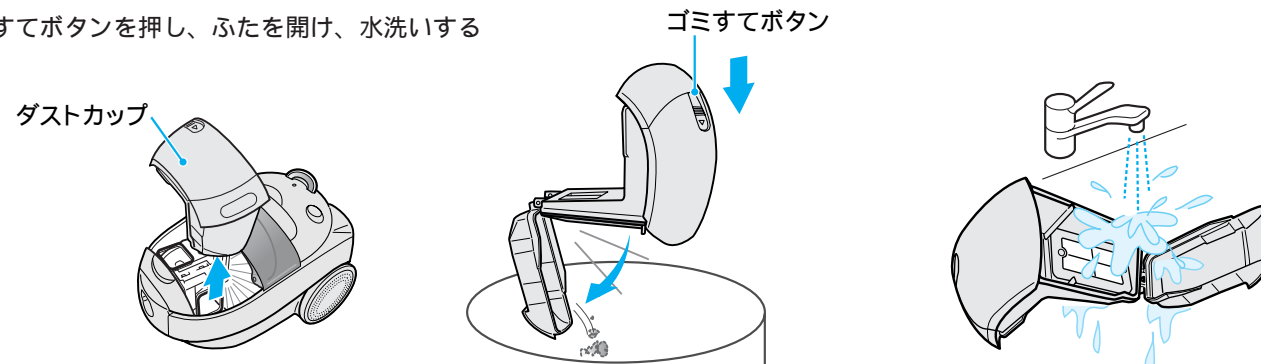
本体や付属品が汚れたときは、水または中性洗剤をふくませた布でふく

●ベンジンなどでふくと、ひび割れ・変形・変色の原因になります。

ワンタッチ手元ブラシのお手入れ

はずして水洗いする

1 ワンタッチ手元ブラシを下に引き抜く

2 水洗いをし、十分に乾燥させる

3 ホース先端の溝とワンタッチ手元ブラシの凸部をあわせてはめる

ダストカップのお手入れ

本体からダストカップを取り出し、ゴミを捨てる

ゴミすてボタンを押し、ふたを開け、水洗いする

お願い
●ネットフィルターに付着したゴミが取れにくい場合には、古い歯ブラシ・綿棒などでお手入れしてください。

お掃除の後に

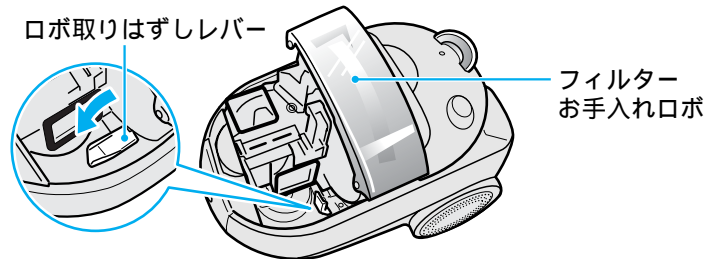
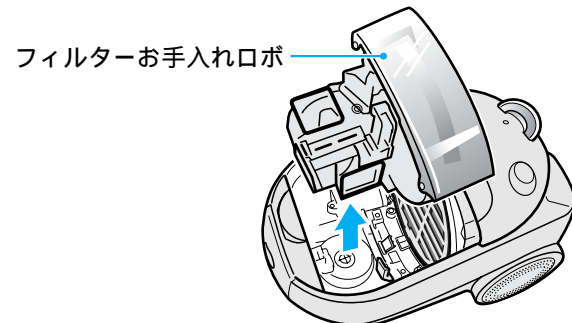
お手入れ（つづき）

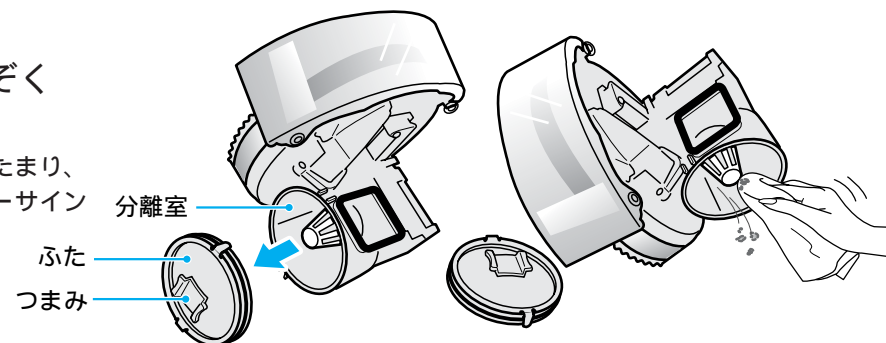
⚠警告　接触禁止　**本体内部のギヤには触れない**
手などをけがすることがあります。特に小さなお子さまにはご注意ください。

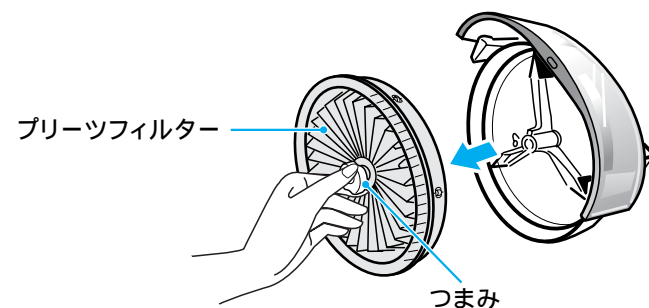
フィルターお手入れロボのお手入れ

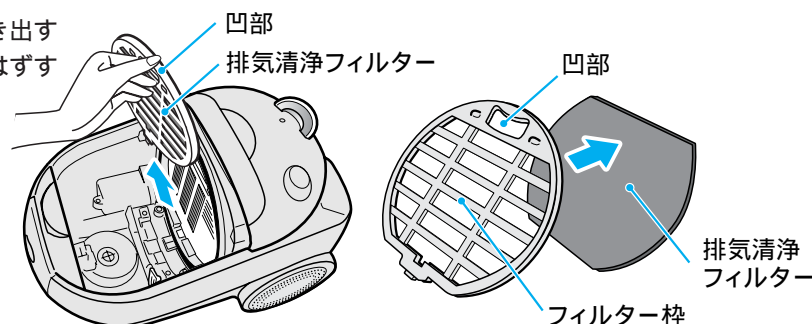
フィルターサインが点滅したら、フィルターお手入れロボをお手入れしてください。
※本体からダストカップを取り出し、ゴミを捨ててください。

1 フィルターお手入れロボの取りはずしレバーを下へ押す

●取りはずしレバーを、下まで確実に押し込んでください。
フィルターお手入れロボが少し浮き上がります。

2 フィルターお手入れロボを取り出す

3 分離室のふたをはずし、中にたまったゴミを取りのぞく

つまみを持ち、矢印の方向に引く
●分離室内に紙片や包装用フィルムがたまり、空気の流れが悪くなると、フィルターサインが点滅します。

4 プリーツフィルターをはずす

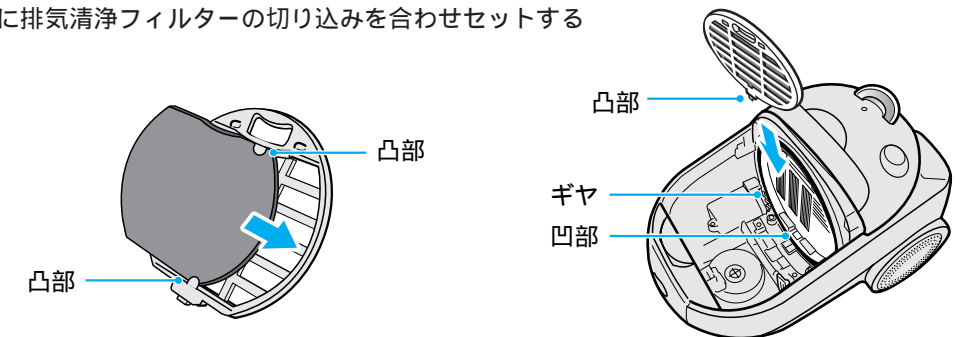
つまみを持ち、矢印の方向に引き抜く
●プリーツフィルター表面が、水気を吸って細じんが固着している場合は、プリーツフィルターを水洗いして、細じんを取りのぞいてください。

5 フィルター枠をはずす

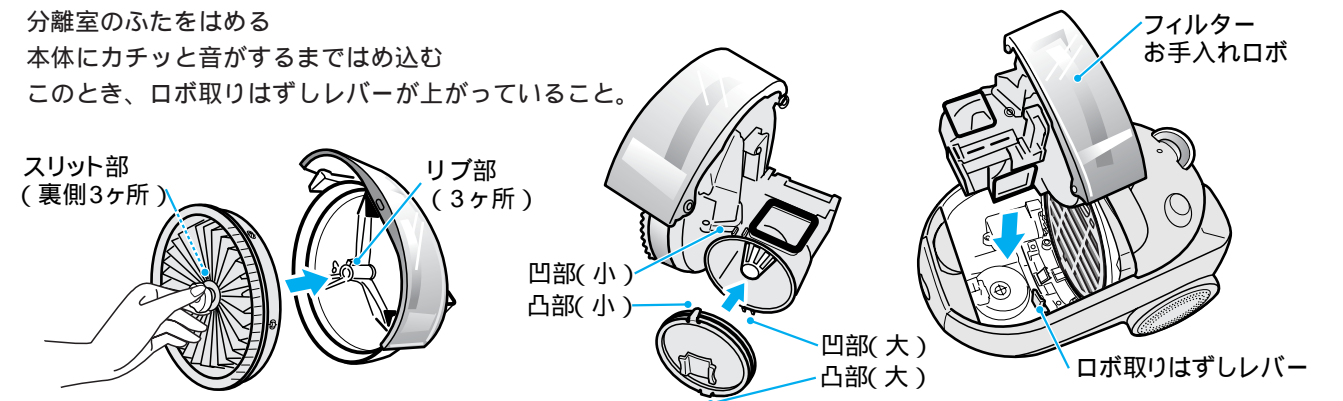
①凹部に指を入れ、フィルター枠を前に引き出す
②フィルター枠から排気清浄フィルターをはずす

6 フィルターお手入れロボ、プリーツフィルター、フィルター枠、排気清浄フィルターをそれぞれ水洗いする

●プリーツフィルターは、容器に水をため、つけ置き洗いするとゴミが落ちやすくなります。

お願い
●プリーツフィルターは、歯ブラシや綿棒などで洗わないでください。破損の原因になります。

7 排気清浄フィルターを十分に乾燥させて、フィルター枠を本体にセットする

①フィルター枠裏側の凸部に排気清浄フィルターの切り込みを合わせセットする
②本体にセットする

8 十分に乾燥させて、フィルターお手入れロボを本体にセットする

①フィルターお手入れロボにプリーツフィルターをセットする（スリット部とリブ部を合わせる）
②分離室のふたをはめる
③本体にカチッと音がするまではめ込む
このとき、ロボ取りはずしレバーが上がっていること。

お願い
●性能・品質を保証できませんので、洗剤・漂白剤などを使用したり、洗濯機で洗ったり、暖房器具、ドライヤーで乾かさないでください。
●水洗い後、ゴミが残ったまま乾燥しますと、異臭が発生することがあります。
●お手入れ後は、必ず十分に乾燥させてからセットしてください。ぬれたままご使用になるとフィルターの目づまりや異臭の発生や本体の故障の原因になります。
●乾燥時間は、風通しの良い場所で、約1日（24時間）が目安です。

（つづく）

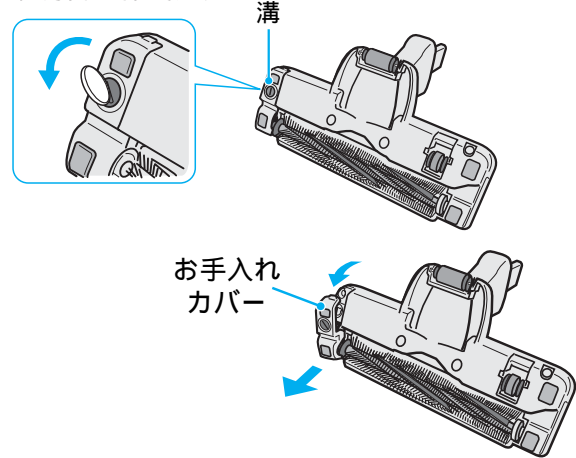
お手入れ（つづき）

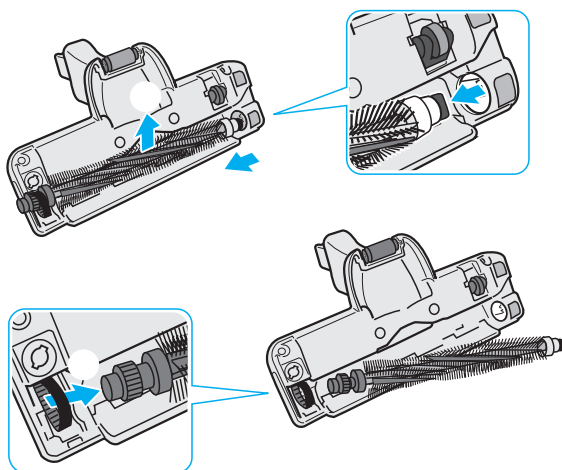
⚠警告 本体・ホース・伸縮延長管・床ブラシ（回転部、お手入れカバーをのぞく）・ワンタッチどこでもブラシ（ブラシ毛をのぞく）は絶対に水洗いしない
感電・故障の原因になります。

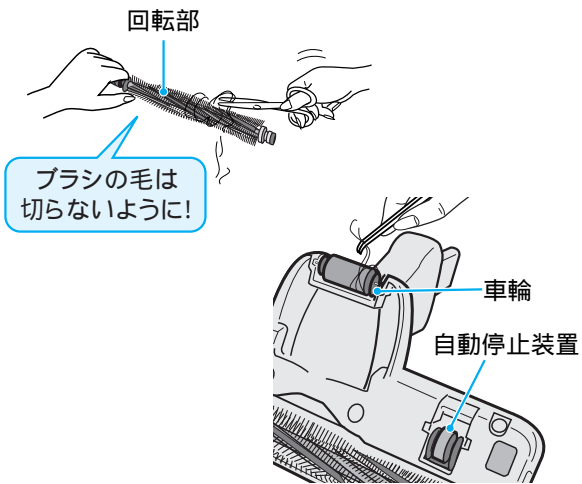
床ブラシ

お手入れは、伸縮延長管から取りはずしておこなってください。
週1～2度、お掃除の最後にお手入れしてください。回転部にゴミがからみつくと、回転部が回らなくなります。

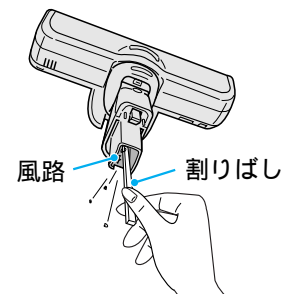
1 床ブラシを裏返し、お手入れカバーをはずす

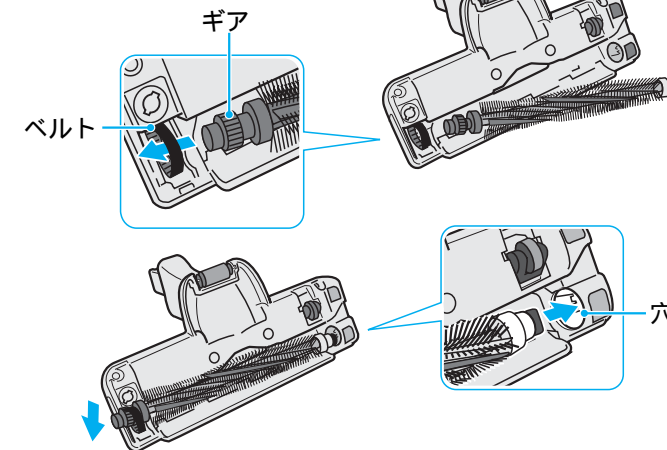
①溝にコインを入れ、「ひらく」の位置に合わせる
②お手入れカバーの後ろ側を持ち上げる
③前方向に引き抜く

2 回転部をはずす

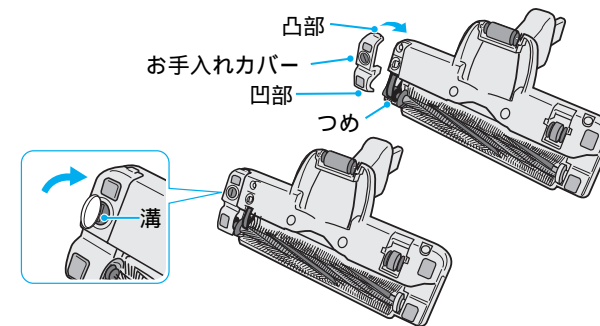
①回転部を持ち上げる
②矢印の方向に抜く
③ベルトから取りはずす

3 ゴミを取りのぞく

①回転部に糸くずや毛・ペット毛などがからみついたときは、はさみで切り、取りのぞく
②自動停止装置にからみついたゴミ、車輪のまわりに入ったゴミは、ピンセットで取りのぞく

●ゴミがたまったままお使いになると、車輪が回らず、床、たたみを傷つけることがあります。

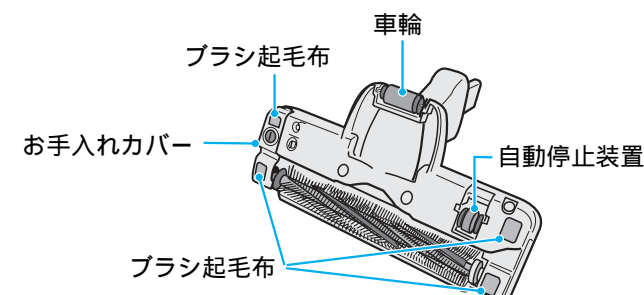
お願い

●床ブラシの風路内にゴミがたまっていると、フィルターサインが点滅する場合があります。使い古しの割りばしなどで取りのぞいてください。

4 回転部を取り付ける

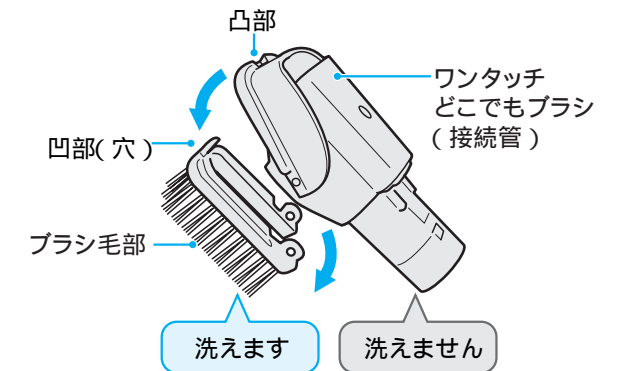
①ギアにベルトをかける
②回転部を穴に差し込む
③回転部を取り付ける

5 お手入れカバーを取り付ける

①お手入れカバーの凹部をつめにかける
②お手入れカバーの凸部を穴に入れる
③溝にコインを入れ、「しまる」の位置に合わせる

●お手入れカバーは、必ず取り付けてご使用ください。
●お手入れカバーに無理な力を加えないでください。

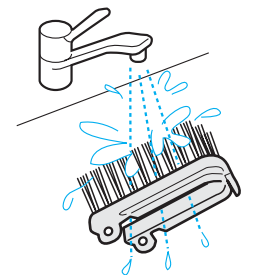
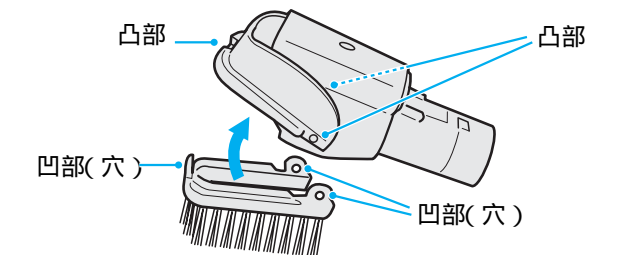
お願い

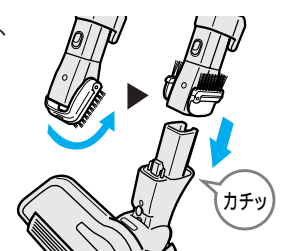
●回転部の軸受部には注油しないでください。回転不良の原因になります。
●回転部、お手入れカバー以外は水洗いしないでください。故障の原因になります。
●洗剤、漂白剤などを使用しないでください。
●毛のかたいブラシで洗わないでください。
●暖房器具、ドライヤーなどで乾かさないでください。
●回転部のギヤは確実にベルトに取り付けてください。ギヤが入っていないと回転部は回りません。
●床ブラシ下側の車輪・ブラシ起毛布が摩耗していると床・たたみに傷をつけることがありますので、お手入れの際に点検してください。摩耗しているときは、販売店にご相談ください。

ワンタッチどこでもブラシ

ブラシ毛部は、はずして水洗いできます。

1 ワンタッチどこでもブラシ（接続管）を持ち、ブラシ毛部をはずす

お願い

●ブラシ毛部をはずすときは、図のように（①、②の順）はずしてください。下側からはずすと破損することがあります。

2 水洗いをし、十分に乾燥させる

3 接続管の凸部とブラシ毛部の凹部をあわせて、カチッと音がするまではめ込む

お願い

●接続管は、水洗いしないでください。
●床ブラシにセットするときは、ブラシ毛部を回してからセットしてください。

お掃除の後に

このようなときは

⚠警告 分解禁止

改造はしない　また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない

火災・感電・けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。

修理サービスを依頼する前に

●ご使用中に異常が生じたときは、電源プラグを抜き、約15秒後にふたたび差し込んで動作を確認してください。
それでも異常が直らないときは、次の点をお調べください。

このようなときは	調べるところ	直しかた	参照ページ
運転しない	●ホースが本体に差し込まれていますか。 ●ダストカップがゴミでいっぱいになったり、ホース・伸縮延長管にゴミがつまっていませんか。 ●床ブラシにゴミが吸い付いていませんか。	→しっかり差し込んでください。 →本体の保護装置がはたらいています。 →本体の保護装置がはたらいています。	6 19 19
運転音がかわる	●ゴミがいっぱいたまったままお使いになると、本体保護のため吸込力を弱める機能がはたらく場合があります。	→マイコンによる制御で異常ではありません。	9、11
「ピー、ピー」とアラーム音が鳴る	●プリーツフィルターが付いていますか。 ●ギヤ部にゴミがついていませんか。	→取り付けてください。 →取りのぞいてください。	14~15 14~15
吸込力が弱い フィルターサインが点滅している	●ダストカップがゴミでいっぱいになっていませんか。 ●ダストカップ、プリーツフィルターの汚れがひどくありませんか。 ●ホース・伸縮延長管・床ブラシにゴミがつまっていませんか。 ●水などの液体か湿ったゴミを吸い込んでいませんか。 ●水洗い後、十分に乾燥されていますか。	→ゴミを捨ててください。 →お手入れしてください。 →ホース・伸縮延長管・床ブラシをはずしてゴミを取りのぞいてください。 →お手入れしてください。 →風通しの良い日かげで十分に乾燥させてください。	12 13~15 6 13~15 15
床ブラシの回転部が回転しない	●回転部のまわりに糸くずがたくさん巻きついていませんか。 ●ブラシ本体とお手入れカバーの間にすき間ができていませんか。 ●大きなゴミか、薄い敷物を巻き込んでいませんか。 ●自動停止装置にゴミがついていませんか。 ●回転部のギヤがベルトに入ってますか。	→取りのぞいてください。 床ブラシの保護装置がはたらいています。 →お手入れカバーを取り付け直してください。 →床ブラシの保護装置がはたらいています。 →取りのぞいてください。 →回転部を取り付け直してください。	16、19 16~17 19 11、16 16~17
電源コードが巻き取れない 引き出せない	●電源コードが片よって巻き取られていませんか。 ●電源コードがからんでいませんか。	→1～2m引き出してふたたび巻き取ってください。 →電源コード巻取りボタンを押しながら「巻き取る」「引き出す」操作を2～3回くり返してください。	9 9
ホースが縮む	●床ブラシに大きなゴミが吸いついていませんか。 ●ホース、伸縮延長管、床ブラシにゴミがつまっていませんか。	→ゴミを取りのぞいてください。 →ホース、伸縮延長管、床ブラシをはずしてゴミを取りのぞいてください。	16 6

それでも異常のある場合は、20ページの保証とアフターサービスをご参照ください。

●ご使用中、本体及び電源コード、排気風が熱く感じられてきますが異常ではありません。モーターの熱のためです。
●ゴミがたまってくると、吸込力を保つためにモーターの回転数が高くなり、音が少し大きくなりますが異常ではありません。
ダストカップのゴミを捨て、フィルターお手入れロボをお手入れしてください。13~15ページ
●ご自分での修理は、危険な場合がありますから絶対にしないでください。
●電源プラグをコンセントに差し込むとき、火花が散る場合がありますが、故障ではありません。

保護装置について

モーターの過熱を防ぐため、本体内部に運転を止める保護装置がついています。
次のようなとき、保護装置がはたらきますのでお手入れをしてください。

本体の保護装置がはたらくとき

このようなとき	直しかた
●ダストカップがゴミでいっぱいのまま運転し続けたとき **砂ゴミ、誤って吸い込んだ湿ったゴミや通気性の悪いゴミなど、吸込むゴミの種類によっては、ダストカップがいっぱいになる前に、保護装置がはたらくことがあります。** ●ホースや伸縮延長管や床ブラシなどにゴミがつまったまま運転し続けたとき ●すき間ノズルで連続運転使用したとき ●夏期など室温が35℃を超えるとき ●吸込口や排気口をふさいで連続運転し続けたとき ●ゴミサインが点滅したまま使用したとき	①手元スイッチの切を押し、電源プラグをコンセントから抜く ②ゴミを捨てるか、またはホース、伸縮延長管、床ブラシなどにつまったゴミや排気口などをふさいでいる物を取りのぞく ③涼しい場所におく **約1時間後、保護装置が解除され、再び使用できます。**

床ブラシの保護装置がはたらくとき

床ブラシのモーターの過熱を防ぐため、回転部（ブラシ）の回転が自動的に停止します。

このようなとき	直しかた
●回転部（ブラシ）を回転させたまま同じ場所に放置したり、床に強く押しつけたとき ●回転部（ブラシ）に異物を巻き込んだとき	手元スイッチの切を押し、床ブラシを伸縮延長管からはずし、床ブラシに巻き込んだ異物を取りのぞきます。16ページ **約10分後、保護装置が解除され、再び使用できます。**

抗菌の効果

部品名	抗菌の確認を行った試験機関	試験方法	抗菌の方法	抗菌の処理を行っている部品の名称
床ブラシ	（財）日本化学繊維検査協会	統一試験法	繊維に付着	ブラシ毛
ダストカップ	（財）日本食品分析センター	JIS Z 2801	樹脂に練り込み	プラスチック
アレルゲットフィルター	（財）日本紡績検査協会	JIS Z 2801	繊維に付着	不織布
ゼオライトフィルター	（財）日本食品分析センター	JIS L 1902	繊維上で化学結合（アルミノケイ酸+銅）	不織布
プリーツフィルター	（財）日本紡績検査協会	JIS L 1902	繊維に付着	不織布

仕様

電源	消費電力	外形寸法			質量	吸込仕事率	運転音	集じん容積	電源コードの長さ
		長さ	幅	高さ					
100V 50-60Hz 共用	1000W～約160W	350 mm	250 mm	228 mm	5.9kg（ホース・伸縮延長管・床ブラシ含む）	500W～約50W	57dB～約45dB	0.5L	5m

手元スイッチ「強」にて消費電力1000W、吸込仕事率500W、運転音57dB
●この商品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国では、使用できません。
海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。